



第44回町社会福祉大会開催

～ともに生き支えあう福祉のまちづくり～

表彰を受ける守 政美さん

11月25日、道仏交流センターで第44回階上町社会福祉大会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大会式典のみを行い、町長及び町社協会長より、長年にわたり地域福祉の発展に貢献された方や高額寄付者、高額物品寄付者に対し表彰状と感謝状がそれぞれ贈られました。

また、町議会議員 百目木様からご祝辞をいただいた後、最後に受賞者を代表して、守政美様より謝辞をいただき閉会となりました。

表彰を受けられた方々は以下のとおりです。おめでとうございます。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

- ・青森県社会福祉大会長表彰
【民生委員児童委員】十文字倉男、山下和子、川浪秀一
- ・三戸郡社会福祉大会長表彰
【民生委員児童委員】袴田行政、須藤留吉、遠藤富喜子、磯谷みね、滝口洋子、守 政美
【町赤十字奉仕団役員】堀合ひろ子
【ほのぼの交流協力員】田中由紀子、柳沢正子、濱道登美子、中屋敷さち子
【階上保育園職員】町 千賀子
【町社協職員】小田島久美子

名誉大会長授与 <表彰の部>

- ・民生委員児童委員永年勤続者
袴田行政、須藤留吉、遠藤富喜子、磯谷みね、滝口洋子、守 政美
- ・福祉団体役員職員等永年勤続者
【町社協理事】堀合勝美
【ほのぼの交流協力員】小澤寿子、中城和子
【町ボランティアサークルけやき役員】留目慶子
【苦情解決第三者委員】高橋信一

大会長授与 <感謝の部>

- ・高額寄付者（5万円以上） 木村勝彦、小松琢也
- ・高額物品寄付者 有限会社太田技建（車椅子1台）

あたたかいご寄付 ありがとうございました

- 駅前 寅谷 真理子 様
アルミブルタブ 10.8kg
- 赤保内 大江 浪子 様
アルミブルタブ 11.1kg
- 耳ヶ伏西 木沢 テル 様
アルミブルタブ 10.1kg
- 青森県市町村職員年金者連盟
三八支部長 鈴木 孝義 様
金 5,000円



弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

- 日 時 12月27日（火）
午後1時から午後3時（1人20分以内）
- 場 所 ハートフルプラザ・はしかみ
・相談は予約制（先着6名）です。

■予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067

※新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着用しご相談ください。



年末年越し給食サービスをご利用しませんか

～おせち料理をお届けいたします～

社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。
利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 令和4年12月31日（土）
- 配達時間 午後1時～3時頃
- 利 用 料 無料
- 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・令和4年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をお一人でお過ごしになる方
※大晦日をご家族、ご親戚等と一緒に過ごされる方は対象となりません。
- 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を12月19日（月）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067



※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。



階上町社会福祉協議会 正職員募集のお知らせ

- 【募集職種】 訪問介護員（ホームヘルパー）1名
- 【応募資格】 介護福祉士資格又は介護職員実務者研修（ヘルパー1級）修了
普通自動車第1種免許（AT限定可）
※定年が60歳のため59歳以下の者
- 【勤務時間】 8時15分～17時（7時間45分勤務）
※始業及び終業時間の繰上げ又は繰下げがあります。
- 【休 日】 月間勤務表で明示する日（週休2日制）
- 【給 与】 基本給：152,700円～200,300円
諸手当：通勤手当、介護福祉士資格手当、期末手当3.5ヶ月 等
- 【福利厚生】 社会保険、雇用保険、労災保険、退職共済の適用あり。
- 【応募書類】 ①申込書（社会福祉協議会事務局にあります）
②履歴書（写真添付）
③資格証明書（写）
※申込書はホームページからダウンロードできます。
- 【試験内容】 面接試験
※試験日等詳しくは応募者へ後日お知らせします。
- 【問い合わせ・申込み先】 階上町社会福祉協議会（ハートフルプラザ・はしかみ内）
HPアドレス：<http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>
☎0178-88-3067 担当：信田

編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ：<http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり21.52円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード

入選おめでとうございます!第 43 回町社会福祉作文

今年も町内小中学校より社会福祉作文の応募をいただきありがとうございました。応募のあった 4 8 編の作品の中から 8 編の入選作品が下記のとおり決まりました。

その中から、最優秀に選ばれた赤保内小学校 3 年 佐々木愛莉さんと、道仏中学校 3 年 天摩美海さんの 2 作品を紹介します。

なお、入選作品は文集「そよ風」第 4 3 集でご覧いただけます。入選者のみなさんおめでとうございます。※文集「そよ風」はハートフルプラザ・はしかみで閲覧ができます。

賞	学 校 名	学 年	氏 名	題
最優秀	赤保内小学校	3	佐々木 愛 莉	わたしの思ったふくし
〃	道 仏中学校	3	天 摩 美 海	笑顔
優 秀	赤保内小学校	6	大 崎 里 桜	義眼と共に生きる
〃	階 上中学校	2	宗 前 瑚 春	今、私に出来ること
佳 作	石 鉢小学校	6	小笠原 悠 翔	自分ができる福祉
〃	赤保内小学校	5	田 端 一 華	プレゼント
〃	道 仏小学校	6	濱 谷 舞 香	足あとと未来
〃	道 仏小学校	6	佐 京 こころ	ボランティア活動を通して

【最優秀】

「わたしの思ったふくし」
赤保内小 3 年 佐々木 愛莉



わたしがしょうがいをもっている人について書きたいと思った理由は、自分もびょう気になったし、去年の 24 時間テレビを見て、しょうがいのある人が気になったからです。しょうがいのある人とうがいのない人がぎょう力し合い、ゴールへ向かうきょう力を合を見て感動しました。そしてわたしも、テレビで見た人のようにしょうがいのある人のサポートをしてあげたいと思いました。目の見えない人はこのきょうでどこを走ればいいのか分からないので、しょうがいのない人がとなりでサポートしてあげないと人にぶつかってころんでしまったり、走れなかったりすると思います。いっしょに走ることで、安心して自分の力をはつきす

ることができると思います。目の見えない人の生活をユーチューブで見た時にとてみたいへんだと思いました。たとえば、外ではもうどう犬という、目の見えない人をゆうごうしてくれる犬と歩いています。犬とおでかけをしている時に、止まっている車のミラーにぶつかろうになっっていました。なぜなら犬の高さにミラーはないから、犬には車のミラーのしょうがいの物が分からないのです。わたしは目の不自由な人がいたら、声をかけて行きたい場所をやさしく教えてあげたり、いっしょにその場所までついていってあげたり、困り事を聞いて助けてあげたいです。また、しょうがいのある人をバカにしている人がいたら注意してやめさせたいです。わたしは一才八カ月の時じんぞうのびょう気にかかり、毎日ほちみつみたいなあまい薬とゴーヤみたいなにがい薬をのんでいました。その薬のふく作用で顔がむくみ、一年生の時顔がむくんでいる事をバカにされそうで学校に行きたくなくなってしまうこと

を今でも覚えています。でもゆう気を出して、友だちにわたしの気もちをつたえてみたら、
「うん、うん。」
と聞いてくれてうれしかったです。
わたしは虫にさされないようにしています。虫にさされてしまうと、びょう気がさい発してしまうからです。そんな理由で、保いく園の時から毎日長いくつ下、マスクを身につけて生活していました。今では虫よけスプレーを友だちがかけてくれたりしています。
わたしは、しょっぱい物も食べたらダメでした。びょう気の時はえんぶんをはかるきかいを使って、ふつうの人よりうすい味にしていました。今はさい発していいのでふつうのしょくじをしています。わたしは自分がびょう気になって顔がむくんだりしてふつうの人とちがうので、しょうがいの者のような気もちになり、とてもつらい思いをしました。自分がなりたくてなつたわけでもないし、しょうがいのある人もそう思っている

と思います。

パラリンピックで、いろいろなしょうがいをもったせん手たちが、ふつうの人い上にいっしょけんめいがんばっているすがたを見てすごいなあと思いました。すぐこりよくしているのだと思います。手がなくても足がなくてもびょう気の人と同じ人間だし、しょうがいがあある人もおたがい助け合っていくことが大切だと思います。そんなみんながえ顔になる社会にしていきたいです。

【最優秀】

「笑顔」
道仏中 3 年 天摩 美海



「美海ちゃん、仏さんのおやつチーンして食べなさい。」
そう言ってくれた曾祖母は今はいません。

私がまだ幼い頃、曾祖母はかつこべにたくさん野菜を詰めて私に見せてくれました。一四五センチほどの小さな体でそれを背負い、力強く歩く元気な曾祖母の姿が今でも忘れられません。

そんな曾祖母は、ある日から「アイス」に通うようになりまし。玄関から出る時にはきまって一発芸をします。楽しそうな曾祖母を見ると私も嬉しくなりました。

冬になり、曾祖母の住む岩手県では大雪が積もりまし。雪かきをしていた時に、「心臓が苦しい。」

と曾祖母は倒れてしまったとの知らせを受けました。心臓に負担がかかって倒れたと聞き、心配でいてもたってもいられなくなりました。母と私と弟でお見舞いに行くと、曾祖母はベットの上で横になっていました。私が話しかけると、
「おお、美海ちゃんか、よぐ来たね。」
と、か細い声ながらも笑顔を向けてくれました。

私の母は、お見舞いに行くに必ず、曾祖母の体をふきまします。私も何度かいたことがあります。そうすると曾祖母はとても気持ち良さそうに微笑みます。それを見てとても暖かい気持ちになりました。

しばらくすると、曾祖母は病院に入院しました。お見舞いに行くと、口には管がたくさんつなっていました。病院を見渡すと心電図のモニターがあり、曾祖母の心臓の動きが、波形として映し出されていました。

「ほら、美海だよ。」
母がそう言うと、曾祖母の顔がピクッと動きました。私が話しかけると嬉しそうに微笑

みます。ひと安心はしたものの、曾祖母は一言も喋りません。悲しい気持ちをこらえながら、私は続けて話しかけました。
「元気になったらまた一緒に畑に行こうね。ばあちゃんを作ったきみ、また、食べたい!。」
曾祖母はまだ微笑みます。一日も早く元気になることを願いながら病室を出ました。

しかし、その願いは叶いませんでした。曾祖母は心不全でなくなりました。お葬式にはたくさんの方が集まりました。白い服に身を包み、お化粧をした曾祖母にお別れをした人達はみな、「綺麗だね。」と言ってくださいました。最期のお別れの時の曾祖母は、やはりあの優しい笑顔のまま眠っていました。

大好きな曾祖母は天に召されてしまいました。思い出すところでもさみしい気持ちになります。曾祖母の人生のかけがえのない時間を一緒に過ごせたことのぬくもりがずっと胸に残っています。

曾祖母の介護をした時、介護をしている人を見た時、全

ての人から私は優しさを感じました。病気を患いながらも、曾祖母がずっと笑顔でいられたのは、その優しさのおかげなのだと思います。思いやりや優しさは人を笑顔にする。そして、施された人はその優しさに感動する。その優しさのループこそが社会を明るくする原動力なのだと私は考えます。友達や家族に優しくすることなど、普段からやっているささいなことも優しさにつながります。優しい人には人が集まってくる。今まで読んできた物語や私を取りまくたくさんの人たちが、曾祖母の生き方が、そのことを確かに示してくれていました。

この世界に、戦争やいさがい絶えないけど、思いやりと優しさのループで、人と人が手を取り合い、つながる社会の実現を私は願います。そのために私は、私ができる精一杯の行動をしようと思います。大好きな曾祖母が、命のかぎり優しい笑顔で見守ってくれたように……。